



こまくさ

令和3年
5月7日(金)
No.5

《教育目標》 ～夢に向かって やさしく! かしこく! たくましく!～

今年度の学校経営について

今年度がスタートして、約1ヶ月が過ぎました。秋田県内においてもコロナ感染者が増加している中、本校では今のところ予定通りの活動を進められております。本校では、今後も引き続き感染症予防対策を進めていきます。ご家庭においてもご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、今年度の学校経営の概要についてお知らせいたします。

【学校教育目標】

夢に向かって

やさしく! かしこく! たくましく!

【目指す学校像】

- ①さわやかで明るいあいさつが響き合う、子どもにとって楽しい学校
- ②子どもたち一人一人が夢に向かってやさしく、かしこく、たくましく過ごすことができる学校
- ③学ぶ楽しさや分かる喜びのある授業が保障されている学校
- ④保護者・地域の願いを理解し、ともに地域を愛する子どもたちを育てていく学校

【目指す子ども像】

- ①思いやりのある心を持ち、仲間と力を合わせて明るく生活する子ども
- ②めあてをもち、主体的に課題や問題の解決に取り組み、「対話」を通して考えを深める子ども
- ③困難に立ち向かい克服しようとする、たくましい心と体をもつ子ども

【目指す教師像】

- ①子どもや保護者・来校者に明るくさわやかなあいさつを届けることができる教職員
- ②豊かな人間性と教育者としての責任と誇りをもつ教職員
- ③心身ともに健康で、教育愛にあふれ熱意をもって学び続ける教職員
- ④組織人として協調性を持ち、互いに磨き合い、高め合う教職員

【主な取組】

- 学力向上・職員研修等について
 - ・「だしの子学びのスタンダード」に基づいた学習スタイルと学習規律を確立します。
 - ・チャレンジタイム（掃除後）やチャレンジテストなどで基礎学力の定着を図ります。
 - ・朝の読書に力を入れます。
 - ・家庭学習の充実に努めます。（資料配付済）
 - ・タブレットパソコンを活用した授業づくりのための研修を進めます。
 - ・「対話」を通じた深い学びができるよう研修します。
- 連携について
 - ・だしのご園と連携を深め、円滑な接続を目指します。
 - ・生保内中学校と連携を強め、行事等での合同実施、児童会・生徒会との共通実践、相互の授業参観などを積極的に行います。
 - ・「生小応援団」（地域の諸団体等）と連携をした活動を推進します。

【お願い】

- コロナウイルス感染症予防対策として、ご来校の際には、職員の玄関からお入りになり、検温と消毒をお願いしております。ご協力ください。
- 今後の行事の開催、日程、時間などについては、感染状況を見ながら変更場合があります。御了承ください。



令和2年度の運動会練習
(ドローンによる撮影)

交通安全教室を実施

昨年度は開催できませんでしたが、今年度は仙北市役所様、仙北警察署様、仙北市防犯協会生保内支部様、安全運転管理者協会田沢湖支部様、安全協会田沢湖支部様、PTA生活環境部員様等多数のご協力を頂き、4月28日（水）に実施することができました。

1・2年生は歩行訓練、3年生以上は自転車の技能訓練・乗車訓練等を行いました。自転車のコースは、グラウンド内だけではなく、実際の道路に出て訓練することもできました。これも、多数のご協力があるとのこと。心より感謝申し上げます。

また、だしのご園の年長園児も参加して、1・2年生と一緒に交通安全の願いを込めた風船を空高く上げました。

連休前に実施できたことは大変有意義でした。参加した子どもたちには事故が起きるかも…という気持ちを忘れずに、安全に過ごしてほしいと思います。

終わりに、安全運転管理者協会様より学校に図書カード（3万円分）を頂きました。大切に使用させていただきます。



グラウンドに交差点を作って横断歩道を渡る練習をしました



交通安全の願いを込めて風船をたくさん飛ばしました



パトカーにも乗せてもらい、車から見えない場所を確認



実際の道路を使っの自転車乗車訓練の様子



感謝です



グラウンドでは8の字やS字のコースで技能訓練

交通安全教室をやってみて…

交通安全教室をやってみてわかったことは、自転車では、信号はてんめつしているときや赤のときはぜったいにわたらないこと、そして、自転車からおりてわたること、おうだんし終わってからまた自転車に乗るときにはもう一度後ろを見てから出発すること、そして、いつも歩行者の方が優先であることを学びました。そして、基本的に歩道ではなく、車道のちよつとはじっこを走ることも教わりました。

交通安全教室をやったことは、これからはちゃんと交通安全教室で習ったことを使いたいです。

5年 K.S

先日、由利本荘市岩城勝手字新谷の国道7号で、横断中の女子中学生が路線バスにはねられ、その場で死亡が確認された痛ましい事故がありました。このことについて、秋田県教育委員会から再度子どもたちにも指導するよう指示がありました。また、子どもの交通事故防止対策の要点として次の内容が書かれてありましたので、お知らせいたします。

◆「横断の仕方」の教育

○「横断歩道」、「歩道橋」、「信号機」の利用
近くにあるときは、そこまで行って横断

○横断の意思表示と安全確認

「立ち止まる」、「右左をよく見る」

「手を上げるなど横断する意志を車に明確に伝える」

「車が止まっていることを必ず確認」 ※信号が青でも必ず確認

○横断中も「右左をよく見る」

◆教育上の注意点

・繰り返し何度でも教える

・「子どもの目線」で危険な交差点等を一緒に確認する

・車から子どもは見えにくいことを教える

学校でも指導しましたが、ご家庭でも内容を参考にして同じように指導していただければ大変ありがたいです。

信号が青でも車が横断歩道に入ると、大きな事故につながった事案もあります。信号が青でも安心はできません。